

▼タルグレチン カプセル [内]

- 【重要度】 【一般製剤名】ベキサロテン Bexarotene 【分類】抗悪性腫瘍剤 [レチノイド]
- 【単位】▼75mg/Cap
- 【常用量】1回 300mg/m² (BSA) [適宜減量]
- 【用法】1日1回食後
- 【透析患者への投与方法】設定されていない (1)
- 【保存期 CKD 患者への投与方法】腎機能の悪化に注意して適用 (1)
- 【特徴】
- 【主な副作用・毒性】光線過敏症、脂質異常症、肺炎、下垂体性甲状腺機能低下症、低血糖、血球減少、肝機能障害、白内障
- 【安全性に関する情報】
- 【F】7.5% [イヌ] (1) 30～40% [ラット] (1)
- 【tmax】3hr (1)
- 【代謝】CYP3A4 で代謝 (1)
- 【排泄】尿中未変化体はごくわずか (1)
- 【t1/2】3～4hr (1)
- 【蛋白結合率】99%超 (1)
- 【Vd】
- 【MW】348.48
- 【透析性】資料なし (1)
- 【OW 係数】
- 【相互作用】CYP3A4 を誘導 (1) CYP2C8 阻害剤により血中濃度上昇 (1)
- 【肝障害患者への投与方法】
- 【小児 CKD 患者における報告】
- 【妊婦・授乳婦への投薬】催奇形性あり (1)
- 【主な臨床報告】
- 【更新日】20240815

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。